

「ひびびくりからまちびびくりへ」

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆さまには、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、未曾有の災害となった東日本大震災をはじめ、紀伊半島を襲った台風12号による土砂災害の発生により、多くの方々方が犠牲となりました。亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆さんに心からお見舞いを申し上げます。

宇美町では、東日本大震災の被災地行政機能回復支援として、宮城県の東松島市に6名、石巻市に1名、計7名の職員を派遣してまいりました。復興への道のりは長くそして険しいものでありますが、引き続き、被災地を支援してまいりたいと考えております。

さて、町長就任以来、「まちづくりはひとづくり」を政治理念に掲げ、この具現化に向けまして、行政が優れたりリーダーシップを発揮するともに、町民の皆様方にも、自ら取り組

まれた様々な学習の成果や、既にお持ちの知識、技術等を地域の活性化や人材育成等に生かしていただくなど、生涯学習を基底に据えたまちづくりを進めてまいりました。

このような中、昨年は、行政経営の一層の充実・発展を図るため、従来の考え方に加え、「自助・互助・共助・公助」の視点や、行政区をはじめ事業者、ボランティア団体等と行政との連携・協力のあり方をより鮮明に打ち出した「宇美町第5次総合計画」を策定いたしました。

この計画の実践により「生涯学習によるひとづくり、ひとづくりから始まるまちづくり」を更に加速させて行きたいと思っておりますので、町民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

迎えました新年が、皆さまにとりまして健康で幸せに満ちた一年となりますことをご祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

宇美町長

安川 博



「開かれた町議会を目指して」

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、新たな抱負を胸に新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の推進や議会活動に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、3月に発生した東日本大震災をはじめ、四国・中国地方を縦断した台風の豪雨による土砂災害など、日本各地に未曾有の災害が次々と発生し、私たちや被災地に住んでおられる方々の心に大きな爪痕を残しました。

そのような中、FIFA女子ワールドカップドイツ2011では、「サッカー日本女子代表」などで「シヤパン」が、並み居る強豪と戦いながらも勝利を重ね、「初優勝」という快挙を成し遂げました。そのひたむきな姿に日本中が感動し、多くの国民が勇気づけられたことは記憶に新しいところであります。また、九州新幹線が全線で開通し、博多・鹿児島中央の所要時間は最速で、1時間19分に短縮されるなど、明るいニュー

スもあつた一年でありました。

さて、宇美町議会では、昨年12月に「議会活性化調査特別委員会」を設置いたしました。これは、地方分権の進展に伴い、地方議会が果たすべき役割の重要性が飛躍的に高まっていることにかんがみ、議会が議会の役割を確認し議会改革を進め、町民の付託に応えるため設置したものであります。

宇美町議会といたしましては、このような取り組みを始め、次代を見据えた情勢分析に力点を置きながら町民の皆様の求める効率の良い行政を念頭に町執行部と互いの知恵を出し合いながら、町民参加の町政運営に努力していく所存であります。

長引く経済不況を背景に国家財政も非常に厳しい中、我が町におきましても同様の厳しい財政運営でございますが、町民の皆様の更なる支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。この一年が、皆様方にとりまして実りある飛躍の年となりますことをご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

宇美町議会議長

白水 英至

